

令和7年度【2025年度】

とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0316
施設名	かすみ台第一保育園
施設所在地	東京都青梅市大門2-253
法人名	社会福祉法人かすみ台福社会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

光と形

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

窓から差し込む日差しや日当たりの良い乳児園庭の特徴を活かし、「光と形」をテーマとして設定する。窓際に吊してあるサンキャッチャーの光を指さすなど日頃から光や形の変化に興味を持っている姿が見られることから、光によって生じる様々な変化やそれに伴う形との関連性について子どもたちの興味関心をさらに深めるため。

2. 活動スケジュール

- ①サンキャッチャーの光に興味を持ち、光を目で追ったり触れてみようとする。
- ②トランスパレントキューブを光が差すテーブルに並べ、反射する光の存在に気付く。キューブを目に当て光る景色を体感する。
- ③光の形や色と同じ形のものを見つけて比べてみる。(カラー積木、カラフルフレンズ、机上遊びの素材を使用)
- ④まんだらの形に切ったトランスペーパーを使い、太陽の光や影に気付く。(芝生広場にて)
- ⑤落ち葉を使って光と影の関係を知る
- ⑥形を認識し円柱、立方体、直方体の積み木を組みあわせイメージした形を作ったり、出来た形から物を連想して表現する。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

太陽の光が差し込む時間にカーテンを開け光を取り入れる。

トランスパレントキューブ、まんだらの形のトランスペーパー、白木の積み木、カラー積木、カラフルフレンズ、落ち葉

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・サンキャッチャーで光の存在を知る
- ・部屋に差し込む太陽の光をトランスパレントキューブに当て、光や色、形の不思議を体験する
- ・マンダラの形に切ったトランスペーパーや落ち葉を戸外の太陽の光に当て、映し出された形や影を観察する
- ・映し出された光や色の形と同じ形のものを見つけ比べてみる。
- ・形を認識し積み木を組み立てる

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- (活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)
- ・サンキャッチャーが光を集めキラキラ光っていることに気づき、光を捕まえようと手を伸ばす姿が見られた。特に午睡明けなどカーテンを開けた時に気付く子どもが多かったので、太陽の光との関係も伝えていった。
 - ・トランスパレントキューブを窓際に並べ、光が入ってくる様子を見て楽しんでた。場所や角度によって色が映し出される為光が差し込む場所を探したり、床などに色が映ると「きれい」「キラキラ」と言葉にして喜んでいた。また、自分の手や足にも色が映ると喜び、「あか」「あお」など色の名前も覚え言葉にしていた。
 - ・トランスパレントキューブを高く積むと光の幅が広がることを知り、積むという遊びに興味を持っていた。高く積めると近くにいた友達に知らせたり、「上手」と拍手する子もいてやりとりする姿が見られた。
 - ・積み木と組み合わせることによって遊びが広がり、形に興味を持ち始めたり、電車やバスなどイメージしたものを作る姿が見られた。
 - ・戸外ではトランスペーパーを使い光が通るようマンダラの形に切ったもので光遊びを行った。保育士が日が当たるアーチ型遊具の上で、光が入るよう傾けて持ちその様子を見せると、子どもたちはマンダラに光が入り色や形が出てくることに興味を持ち、真似をしてマンダラを持ち、光が入るよう傾ける姿が見られた。上手く色や形が地面に映ると、「見て」と保育士を呼んで知らせていた。
 - ・落ち葉を使った影遊びから映る形に興味を持っていた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・サンキャッチャーの光には子どもたち自ら気付いていたが、トランスパレントキューブの光は保育士が窓際に置くなどの働きかけにより興味を持っていた。保育士が光に感動することでさらに関心が深まり、積極的に遊びに取り入れられるようになったと感じた。
- ・マンダラの光遊びは保育士が手本となると、月齢の高い子は真似をしていたが月齢が低い子は難しそうであった。保育士と一緒に持つて遊ぶ事で興味を持ったりやってみようとする気持ちが芽生えていたように思う。
- ・色は分かりやすく、子どもたちの興味関心も向いていた為、遊びを広げやすかったが、形に繋げていくことは難しかった。
- ・保育士からの働きかけにより興味を持った活動は多かったが、子ども自身が他の遊びにも光、色、形に発展させていく姿が見られ想像力に驚かされた。